

はなぞの ファミサポ・レター

私たちファミリーサポートチームは令和1年7月に「家族勉強会 & 交流会」を行いました。ご好評につき2回目の準備を進めていたのですがコロナ禍となってしまう、以降ご家族の集う場は設けられていません。早くコロナ禍が落ち着き、またお会いできる日がくることを願ってやみません。

さて、1回目の会に参加された12家族14名の皆さんを対象に、何に悩み、何を知りたいかのアンケートを実施したところ、「家族の高齢化～親亡き後の将来の生活の準備」と「病気の症状への対応」が知りたいとのご意見を多くいただきました。そこで、今号と次号では、それぞれのトピックに対応する書籍の紹介をさせていただきます。

書籍紹介 第①弾

『精神障害をもつ人のための 親なき後に備える』

制作：認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構（コンボ）

A5判 124頁 価格：1200円＋税

患者さんの生活を親御さんやご兄弟が支えるというケースはとても多いと思います。サポートする側が高齢となってきた「将来のことを考えないといけない」と親子・兄弟ともに思っても「（患者さんに）プレッシャーにならないか」「何から話したものやら」と躊躇して先延ばしにしてはいませんか？そもそも、障害の有無にかかわらず、こうした話はしづらいものですよ。

この本は、実際に親を亡くした患者さんや親兄弟の手記（何に困り、どんな備えが役立ったか）と、社会資源（お金・住居・生活支援などに関する仕組みやサポート例）の簡単な紹介で構成されています。病院職員の立場でも、とても役立つ1冊です。

当院は“その時”がくれば最大限の支援をいたします。ただ、心構えや準備のないご家族の場合、大きな負担を一時に背負われることは事実です。

「病院のおすすめ本を買ってみたよ」と家族の話題にさせていただくことで、将来の生活について話し始めるきっかけとして、この本を使ってみてはいかがでしょうか。

なお、デイケアに実際の書籍がありますので、内容をご覧になりたい方は平日10～16時の間にデイケアにお立ち寄りください。

（※貸し出しはできません）



【本文より引用】

親なき後は、^{のこ}お金よりも人を遺す

～ 本人が相談できたり、本人に関心を持ってくれる人・施設とつながっておくことが大切と考える父親の言葉 ～

【購入方法】・「地域精神保健福祉機構（コンボ）」へ電話で注文する

電話番号：047-320-3870

・インターネット通販サイト Amazon（書籍名で検索）

はなぞのファミリーサポートチーム

心理室：岡村、相談室：宗本、OT室：角田・平田、デイケア：上村